

11月1日(木)

本日は終日黒田則博先生による講義が行われました。講義内容は基本的な日本の学校教育制度に関するもので、研修員の方々が自国の教育制度と比較しながら意見や質問を述べ、ディスカッションが盛んに行われました。公立学校の設置者や校区、義務教育制度、社会教育、公立学校教員の職務義務など多くの情報が扱われていました。研修員の方々から挙げられた質問や意見を具体的に挙げると、以下のようになります。

1. 日本の受験制度

Q: もし受験に失敗したらどうなるのか。特に、私立学校に行く余裕の無い生徒はどのような選択肢があるのか。

2. 塾に通う生徒

Q: 塾の先生と公立学校の先生の違いは何なのか。

Q: なぜ日本の学校は信用されているのに塾に通う生徒がたくさんいるのか。

3. 学校が抱える責任の大きさ

日本の学校教員は教科・科目を教えるだけでなく、生活指導などほかにも多くのことを受け持つ現状があります。学校が抱える責任の大きさに研修員たちは驚いていました。

4. 日本の社会教育の充実

ケニアの研修員によると、ケニアでは親への子育て指導・支援が日本の政府が行っているほど充実していないそうです。エジプト出身の研修員もその意見に賛成していました。

